

福祉 ぐんま

NO.253
2015 夏号

 社会福祉法人 群馬県社会福祉協議会



■主な内容

- *特集 ふれあい・いきいきサロンの推進…2~3
- *就職面接会開催について…3
- *平成26年度事業報告・決算概要…4~5
- *会長、常務退任挨拶…5
- *ボランティア情報…6~7
- *共同募金からのお知らせ…7
- *会長、常務新任挨拶…8
- *素敵な笑顔…8

三郷保育園
新井麻里絵さん
(関連記事は8ページに掲載)



「福祉ぐんま」の作成経費として共同募金配分金を使用しています。

特集 ふれあい・いきいきサロンの推進

社会福祉協議会では、地域を拠点に、その地域に住む住民同士が協働で企画し、内容を決め、ともに運営していく楽しい仲間づくり、居場所づくりの活動である「ふれあい・いきいきサロン」を推進しています。

ふれあい・いきいきサロンとは？

サロンは、参加する一人ひとりがともに楽しい時間を過ごしながらか「地域の一員」としての気持ちを高め、地域社会におけるつながりの再構築、ひいては地域の助け合いが広がっていく「地域住民によるつながりづくりのきっかけの場」として、全国社会福祉協議会が1994年(平成6年)に提唱した活動です。

公的制度では、一定の福祉サービスを提供することはできても、地域が抱えている固有の問題や個別の問題等をきめ細かく解決する力は十分ではありません。それゆえ、地域住民相互のつながりとそれに基づく助け合いが重要になります。

サロン設置数の推移

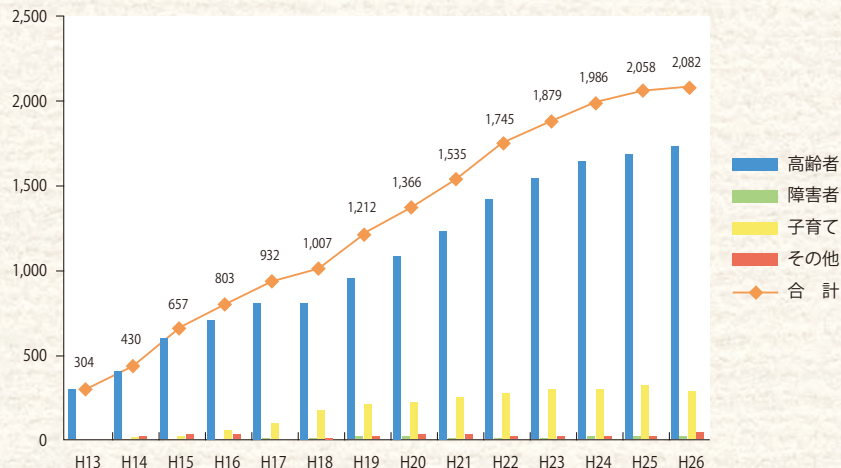
平成26年6月1日現在で、群馬県内では2,082か所のサロン活動が確認されています。高齢者、子育て、障害者、国際交流、対象を限定せずに地域の人たちが自由に集うサロンなど、さまざまなサロンが存在しています。



高齢者サロンの様子



子育てサロンの様子



サロン研修会の様子

平成24年度より県内5ブロックにおいて研修会を実施しています。平成26年度には合計で1,499名の方に研修会へ参加いただき、実践事例発表やレクリエーション研修を通してサロン活動者の支援を行い、県内のサロン活動の普及・啓発を図りました。



サロンは“地域のつながりをつくる場”

地域の中にはさまざまな人が暮らしています。そして、そこにはさまざまな生活課題があり、誰にも相談できずに困っている人や人知れず悩んでいる人もいるかもしれません。

誰もが住み慣れた家庭や地域の中で、その人らしく安心して生活し続けるためにも、地域の中にお茶を飲みながら仲間と気軽に話しのできる場所がある、相談できる仲間がいることは、とても大切なことです。

サロンは、一人ひとりがともに楽しい時間をすごしながら、個人と地域、社会をつなぐ橋渡しの拠点として、希薄化してしまった地域のつながりを再構築し、互いに支え合い、助け合う関係をつくり出すことができます。

サロンについてわからないことやもっと詳しく知りたいことがありましたら社会福祉協議会へご連絡ください。

福祉ハートフルフェア2015

○日時 平成27年8月20日(木)
13時～16時

○会場 ヤマダグリーンドーム
前橋サブイートエリア

○主催 群馬労働局・ハローワーク(公共職業安定所)・群馬県・(公財)介護労働安定センター・群馬支所・(社福)群馬県社会福祉協議会・福祉マンパワーセンター

ミニ就職面接会

■東毛会場(太田市福祉人材バンク主催)

○日時 平成27年8月1日(土)
13:30～15:30

○会場 太田市社会教育総合センター

■中毛会場(マンパワーセンター主催)

○日時 平成27年9月13日(日)
13:30～15:30

○会場 県社会福祉総合センター16階

■北毛会場(マンパワーセンター主催)

○日時 平成27年10月4日(日)
13:30～15:30

○会場 渋川市福祉庁舎(渋川ほっとプラザ)

○内容 福祉分野への就職希望者を対象とした県内施設・事業所との就職面接会

福祉のお仕事への就職を応援します！

福祉ハートフルフェア(福祉人材確保就職面接会)、ミニ就職面接会を開催します

～福祉のお仕事に関心のある方、ぜひご参加ください。採用担当者と直接話をして、現場での仕事内容を詳しく知ることが出来ます～

ホームページ「福祉のお仕事」でも求人検索ができます。

パソコン版
<http://www.nw.fukushi-work.jp/>

福祉のお仕事 検索

モバイル(携帯電話)版
<http://www1.fukushi-work.jp/cool/m/>

- 参加費 無料
- 当日会場へお越しください。
- 福祉の仕事希望する方、従事者を募集する事業所の方は：
窓口は県内に3ヶ所
- 群馬県福祉マンパワーセンター
TEL027-255-6600
前橋市新前橋町13-12
(県社会福祉総合センター6階)
- 高崎市福祉人材バンク
TEL027-324-2761
高崎市東町80-1
(高崎市労働会館1階)
- 太田市福祉人材バンク
TEL0276-48-9599
太田市飯塚町1549
(太田市福祉会館内)(4月に移転しました。)

平成26年度事業報告・決算概要

本会の基本理念に掲げる「県民だれもがともに支え合い、住みなれた家庭、地域で、その人らしく安心して暮らせる福祉社会」の実現のため、活動推進計画に基づき、市町村社協や民生委員・児童委員、社会福祉施設、関係社会福祉団体、そして県との連携の下で、各種事業を実施しました。以下、その概要を報告します。

主な実施事業

I 地域におけるきめ細やかな福祉活動の展開

住民による地域福祉活動の活性化促進

- ① 地域福祉計画・地域福祉活動計画策定研修会 34名参加
- ② 市町村社協地域福祉活動計画の策定支援 24回
- ③ 見守り支援推進事業 6社協
- ④ 福祉コミュニティネットワーク支援事業 3社協指定
- ⑤ 市町村社協役員研修の充実
- ⑥ 市町村社協役員研修の充実
- ⑦ 市町村社協役員研修の充実
- ⑧ 民生委員・児童委員活動の推進
- ⑨ 単位民生協会長・副会長研修会、新任民生委員児童委員研修会の開催

ボランティア・市民活動、NPO法人等による地域活動の推進、福祉教育の充実

- ① ボランティア活動推進事業
- ② ボランティア情報・相談コーナーの設置運営
- ③ ボランティア等活動機材貸出
- ④ 社協ボランティアセンター担当職員研修・会議
- ⑤ 社協ボランティアコーディネーター基礎研修会
- ⑥ 平成26年度ぐんまボランティアフォーラム 113名参加
- ⑦ 福祉教育(学童・生徒のボランティア普及事業)
- ⑧ 福祉教育副読本の作成
- ⑨ 地域指定福祉協力校モデル事業 3地区指定
- ⑩ 社会福祉協力校 10校指定
- ⑪ 福祉教育セミナー
- ⑫ ボランティア・市民活動支援実践研究会 10回
- ⑬ 福祉教育実践研究会 10回
- ⑭ 大学・短大・専門学校ボランティア担当教職員連絡会議
- ⑮ 住民参加型在宅福祉サービスの推進支援
- ⑯ 保護児童・交通遺児への就学援助金の給付

II 地域における相談・生活支援体制の強化

生活困窮者への支援

- ① 生活困窮者自立促進支援モデル事業の実施(県内23町村) 相談 55件
- ② 自立相談支援事業申込5件
- ③ 自立支援プランの作成2件
- ④ 生活福祉資金の貸付
- ⑤ 生活福祉資金貸付事業
- ⑥ 貸付決定 956件
- ⑦ 233,937,120円
- ⑧ 要保護世帯向け不動産担保型生活資金貸付事業
- ⑨ 貸付決定 7件
- ⑩ 32,829,900円
- ⑪ 臨時特例つなぎ資金貸付事業
- ⑫ 貸付決定 6件 240千円
- ⑬ 生活福祉資金総合支援資金面談による援助活動 延べ127件
- ⑭ 貸付事業等の債権管理の強化
- ⑮ 償還指導 437件

地域における権利擁護体制の構築

- ① 日常生活自立支援事業の推進
- ② 12基幹社協の一部委託
- ③ 利用契約締結数 206件
- ④ 実利用契約者数 948名
- ⑤ 権利擁護セミナー 224名参加
- ⑥ 虐待防止セミナー 358名参加
- ⑦ 心配ごと相談所中央センター事業 相談件数 32件
- ⑧ 巡回研修 4回

III 社会福祉法人・施設の福祉サービス事業者への支援

社会福祉法人・施設における経営の強化

- ① 法人・施設経営指導 45件
- ② 群馬県社会福祉法人経営青年会への支援
- ③ 種別協議会活動への支援
- ④ 地域子育て支援センターへの支援

支援
⑤ 障害福祉施設・団体等のネットワーク化

- ⑥ 障害者の就労・自立の支援
- ⑦ 群馬県社会就労センター協議会への支援
- ⑧ 社会福祉法人・施設への支援
- ⑨ 民間社会福祉施設整備資金貸付事業 貸付決定1件
- ⑩ 群馬県社会福祉協議会民間社会福祉施設等職員共済事業
- ⑪ 46法人 1,054施設
- ⑫ 16,735人加入
- ⑬ 福祉医療機構社会福祉施設職員等退職共済事業
- ⑭ 新会計基準に関する研修会
- ⑮ 3回、134名参加
- ⑯ 介護等体験事業
- ⑰ 体験申込大学等40大学、体験者713名、受入施設257施設

IV 福祉サービスを支える福祉人材の確保への取り組みと人材育成への貢献

- ① 福祉人材無料職業紹介事業
- ② 新規求職者数 9,282名
- ③ 新規求職者数 3,018名
- ④ 紹介数 507名 就職数 401名
- ⑤ 応募数 859名
- ⑥ 福祉人材確保相談事業
- ⑦ 相談件数 7,650件
- ⑧ 求人開拓 218施設訪問
- ⑨ 福祉人材確保等の関する説明会・研修会
- ⑩ 福祉ハートフルフェア
- ⑪ 地区別ミニ就職面接会
- ⑫ 求職登録者就職支援セミナー
- ⑬ 福祉・介護人材マッチング機能強化事業
- ⑭ 出張相談会 62件
- ⑮ 介護職員等確保対策事業
- ⑯ 求人先開拓 延べ151件、求職者開拓 延べ57件、新規就労に向けた活動 延べ28件

V 福祉サービスの質の向上

① 福祉サービス第三者評価の推進

- ② 評価調査者継続研修会
- ③ 群馬県版共通評価基準(障害分野)策定作業委員会の開催
- ④ 社会的養護関係施設第三者評価事業(義務)の支援
- ⑤ 運営適正化委員会へ支援強化
- ⑥ 福祉サービス運営適正化委員会 2回
- ⑦ 福祉サービス苦情解決部会 6回
- ⑧ 苦情相談の受付件数 77件(苦情34件、その他43件)
- ⑨ 事業者段階における苦情解決体制整備強化実態調査
- ⑩ 福祉サービス苦情解決セミナー 274名参加
- ⑪ 巡回訪問 延べ4か所

VI 災害時における活動支援体制の整備

- ① 市町村災害ボランティアセンターの支援
- ② 災害ボランティアセンター設置訓練 3回

◎ 退任のごあいさつ

前会長 下城 茂雄



厳しい暑さが続いておりますが、皆様方には、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。さて、私こと、任期満了に伴いまして、このたび6月30日付けをもちまして、退任いたしました。平成23年7月の就任以来、2期4年間でございましたが、微力ながら会長として今までやってこられましたのは、多くの皆様方の温かいご指導、ご協力とご支援の賜でございます。心より、御礼を申し上げます。

この4年間、福祉の分野も大きく変化いたしました。今、超高齢化の進展と深刻な少子化・人口減少が大きな問題となっておりまして。こうした中、この4月からは、社会保障・福祉の分野におきましては、介護報酬の改定や介護保険制度の見直し、障害者給付の見直し、子ども・子育て支援新制度、生活困窮者自立支援及び社会福祉法人制度改革の実施など、大きく変わったところがございます。こうした中で、地域包括ケアシステムの構築や社会的孤立・困窮をなくすため、地域福祉の在り方が大きな課題となっております。こうした中で、社会福祉協議会の使命と責務が問われておりますとともに、県民の期待も大きなものがございます。あの未曾有の大災害となりました東日本大震災をきっかけに、再認識されました人と人とのつながり・支え合い、地域福祉の推進が、今、重要なものとなっております。平成27年度は、私も福祉関係者にとり、一つの大きな節目であり、転換点とも言うべき大変重要な年となります。

こうした中、退任することは心苦しいところでございますが、こうしたときこそ、新しい発想と体制で臨むことが肝要かと存じます。在任中は、多くの皆様方のお陰で、東日本大震災被災地への対応、災害対策や福祉教育の推進、組織改正、そして外部監査の導入をさせていただき、来年度からは、新しい5か年計画でございます。県社協の第2期活動推進計画もスタートいたしました。新しい役員体制の下、地域福祉にとりて重要性がますます増す中で、県社協の理念で「一歩」県民だれもがともに支え合い、住み慣れた家庭、地域で、その人らしく安心して暮らせる福祉社会が、一日も早く実現することを心より願っています。ごさい。在任中は、本当にお世話になり、ありがとうございました。

◎ 退任のごあいさつ

前常務理事 岩崎 秋雄



4月30日付日をもって、退任いたしました岩崎秋雄です。平成23年4月から事務局長、7月からは常務理事との兼任となり、以来4年間にわたり、多くの皆様が大変お世話になりました。遅ればせながら、心から御礼と感謝を申し上げます。

この間、福祉の分野においても、様々な改革が進められ、制度や施策がめまぐるしく変わりました。そうした中で、社会福祉協議会に求められる役割を踏まえ、どう活動を展開していくのかということについては、その時の社会情勢や地域課題などによって左右されることも確かですが、どのような場合であっても、常に住民の立場に立って、地域福祉の向上を目指していかなければならない、そうしたいと思いで、これまで取り組んできたつもりです。

また、事務局長となった23年4月には、東日本大震災が発生した翌月でした。就任後すぐに、その支援活動への対応に追われることとなり、戸惑いもありましたが、このことを通して、社協の果たす役割の重要性をあらためて感じましたし、社協の活動がもっとも充実していくよう精一杯頑張ろうという気持ちになりました。いずれにいたしましても、結果として、皆様のお役に立てたかどうか分かりませんが、この4年間は、私にとりては貴重な経験となりましたし、多くの福祉関係の皆様との交流は、大きな財産となったと思っています。今、福祉をめぐる様々な課題があり、そうした時に県社協を離れることは心苦しい気持ちもありましたが、いずれまた違った立場で福祉に関わっていきたくと考えておりますので、よろしくお願いたします。

またどこかで、皆様と共に、活動できることを心から願っております。4年間、本当にお世話になり、ありがとうございました。

平成26年度収支計算書

(自) 平成26年4月1日 (至) 平成27年3月31日 (単位: 円)

事業区分	収入合計額 A	支出合計額 B	前期末支払資金残高 C	当期末支払資金残高 A-B+C
社会福祉事業	562,454,536	532,751,392	91,882,597	121,585,741
公益事業	910,563,325	790,535,051	844,775,610	964,803,884
生活福祉資金会計	227,014,703	233,936,195	1,152,056,602	1,145,135,110
生活福祉資金事務費会計	75,667,281	77,033,944	9,534,763	8,168,100
要保護世帯向け不動産担保型生活資金会計	39,763,587	43,492,258	13,981,518	10,252,847
臨時特例つなぎ資金会計	130,680	1,146,612	14,950,264	13,934,332
合計	1,815,594,112	1,678,895,452	2,127,181,354	2,263,880,014

貸借対照表内訳書

平成27年3月31日現在 (単位: 円)

資産の部		負債の部	
流動資産	2,316,994,484	流動負債	53,426,552
現金預金	1,938,122,719	未払金	45,984,164
有価証券	307,060,000	預り金	5,633,089
未収金	71,447,884	仮受金	1,433,336
その他の流動資産	363,881	その他の流動負債	375,963
固定資産	7,204,530,629	固定負債	2,568,684,537
基本財産	10,000,000	長期借入金	1,030,065,285
その他の固定資産	7,194,530,629	退職給付引当金	171,708,600
		長期預り金	1,366,910,652
		負債の部合計	2,622,111,089
		基本金	10,000,000
		基金(社会福祉振興基金)	1,143,673,185
		国庫補助金等特別積立金	2,739,522,831
		その他の積立金	2,007,854,835
		次期繰越活動増減差額	998,219,173
		(うち当期活動増減差額)	△ 125,936,471
		純資産の部合計	6,899,414,024
資産の部合計	9,521,525,113	負債及び純資産の合計	9,521,525,113

- ・市町村社協事業継続計画研修
- ・災害支援セミナー
- ・災害福祉広域支援ネットワーク事業
- ・災害時福祉拠点整備として機器の購入
- ・検討会 2回、研修会 1回
- ・118名参加、先進地の視察3回
- ③災害時活動支援体制の整備
- ・災害活動資金助成制度の整備
- ・災害時福祉拠点整備として機器の購入

- ①外部監査 年4回
- ②県社協部会の再編
- ③広報機能の強化
- ・ホームページによる情報発信
- ・機関誌「福祉ぐんま」発行 年4回
- ④福祉バス「愛の募金号」の運行 年利用者数4,673名
- ⑤群馬県社会福祉大会
- ⑥社会福祉振興基金事業

Ⅶ 県社協機能と組織の充実・強化

Hello! ボランティアセンター

藤岡市ボランティアセンター

藤岡市社会福祉協議会では、ボランティア活動に関する相談、支援等の様々な事業に取り組んでいます。その中で藤岡市ボランティア連絡協議会と連携した新たな取り組みをご紹介します。

藤岡市ボランティア連絡協議会は昭和57年に発足し、11団体と社協支部ボランティアで構成されています。

献立から調理まで一から手作りのふれあい給食を始め、技術系のボランティア活動など、今までは個々の団体を活動することが中心でした。

しかし、「ボラ連として何かできないか」「これからは、新しいことに取り組んでいかなければならないのではないか」と3年前に一念発起。

自分たちで出来ることを話し合い、市内の障がい者グループが活動する際のサポート支援事業を始めました。

昨年はボウリング大会や食事作りなど、月に1回のペースで支援活動を行いました。

今後、スポーツイベントや他のグループとの交流も考えており、また、接し方についても学んでいく予定です。

これからも、横の連携を大切に、藤岡市が活気づくよう同じ目的に向かって歩み進めていきたいと思えます。



ボウリング大会の様子

社会福祉法人 藤岡市社会福祉協議会

〒375-0024 藤岡市藤岡854-2 TEL 0274-22-5647 FAX 0274-22-6036

ボランティア情報

「第24回全国ボランティアフェスティバルふくしま ~“ありがとう”未来につなごう ふくしまから~」が開催されます!

平成27年11月21日(土)~22日(日)にかけて、福島県郡山市において全国ボランティアフェスティバルが開催されます。

全国ボランティアフェスティバルは、ボランティア・市民活動を推進する多彩な諸機関・団体の協働により開催される、ボランティア・市民活動の最新情報発信、情報交換・交流の場です。

大会名：第24回全国ボランティアフェスティバルふくしま

日時：平成27年11月21日(土)~22日(日)

会場：ビッグパレットふくしま ほか

プログラム：21日(土) オープニング、開会式、基調講演、シンポジウム、交流会等

22日(日) 分科会・フィールドワーク、大会振り返り、閉会式等

参加申込等：平成27年7月下旬に開催要綱を発行し、8月より参加申し込み受付予定

大会専用Facebook：

<https://www.facebook.com/volufesfukushima>

“ありがとう”

未来につなごう ふくしまから



第24回 全国ボランティアフェスティバルふくしま

開催日 **2015年 11/21(土)・22(日)**

会場 **郡山市「ビッグパレットふくしま」ほか**

“ありがとう”
未来につなごう ふくしまから

地域指定社会福祉協力校
千代田町社会福祉協議会



福祉教育推進ネットワーク会議の様子

1 福祉教育の取り組み状況

千代田町には小学校が2校、中学校が1校あり、各学校が様々な視点で活発に福祉教育を実施しています。千代田町社会福祉協議会も平成24年度から平成26年度までモデル事業の指定を受け、学校や地域と連携し当事者やボランティアの協力を得ながら、児童・生徒に対し「ともに生きる福祉の心」を育てる

(2) 夏休みボランティアスクールの開催

夏休みを利用して、社会福祉に対する理解と関心を高め、学年や学校を超えた仲間との出会いやつながり、ボランティア活動や福祉活動へのきつかけとなることを願い、小・中学生を対象に夏休みボランティアスクールを開催しました。

ため各事業に取り組みました。

2 主な活動内容

(1) 福祉体験学習の実施(社協出前型)

福祉教育の増進に向けた総合学習の支援のため、児童らに対し学校や地域の当事者・ボランティアと連携を図りながら、講座や福祉体験学習プログラムを実施し、老いることや身体が不自由な方の生活について学び、自分たちができることについて一緒に考えました。

(3) ふくしポスター・作文コンクールの開催

次世代を担う子どもたちに、地域や社会生活において互いに支え合う「こころ」の大切さや、社会福祉への理解やボランティア活動へ関心を深めるために、小・中学生を対象に「ふくし」をテーマとしたポスター・作文コンクールを開催しました。

(4) 福祉教育推進ネットワーク会議の開催

地域での福祉教育の発展方法や基本的な推進方策の理解・情報共有を目的に、学校担当教職員・社会福祉施設担当職員・社会福祉協議会担当職員等を構成員とする福祉教育推進ネットワーク会議を開催しました。

3 3か年の成果と課題

福祉教育推進ネットワーク会議の開催により、学校・社会福祉施設・社会福祉協議会で「顔の見える関係」づくりの一步を踏み出し、それぞれの課題や悩み等、情報を共有することで「お互いを知る」ことができました。

今後も学校や地域と協働・連携し、地域全体で取り組む「福祉共育」を目指し取り組んでいきたいと考えています。

赤い羽根共同募金 ~あなたの募金は、あなたの町へ。~



平成27年度配分申請受付のお知らせ

県全体の社会福祉充実を目的とした「広域配分」と各市町村の地域福祉充実を目的とした「地域配分」を実施していますが、ここでは「広域配分」についてご案内します。

※「地域配分」については、各市町村のHPをご覧ください。

◇対象団体 社会福祉法人/更生保護法人/公益社団(財団)法人/一般社団(財団)法人/NPO法人/ボランティア団体

◇対象事業 平成28年度に実施する民間社会福祉事業

県域または複数の市町村で行う先駆的福祉活動、ボランティア団体活動なども対象となります。

受付期間 8月5日(水)~9月15日(火)必着

申請用紙配布場所 県共同募金会(前橋市新前橋町13-12)

8月5日(水)に配分申請研修会を行います。配分申請を考えている団体は是非ご参加ください。

詳しくは、県共同募金会のHPをご覧ください。(7月下旬掲載予定)
(ホームページ) www.akaihane-gunma.or.jp お問い合わせ027-255-6596

◎新任のごあいさつ

会長 片野 清明



このたび、7月1日の理事会において、群馬県社会福祉協議会の会長に選任されました片野清明でございます。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

この3月まで、群馬県庁職員として、福祉分野をはじめ保健・医療や市町村行政支援などの仕事に携わってまいりました。そうした中で、昨年、ある知的障害者の支援施設を訪れた際に、「群馬県社会事業沿革史（前編・後編）」をお借りする機会に恵まれました。本県の社会事業の足跡をしるす記述の最後に、当時の関係三団体の解散改組と群馬県社会福祉協議会の結成に至る経過が掲載されており、広範な社会福祉事業関係者の協議会に寄せる期待と社会福祉増進されたいと推計されるなど、超高齢・人口減少社会の一層の進展が見込まれていまして、そうしたことから、持続可能な社会保障制度の構築に向けて、今まさに、多くの改革が進行中ですが、いずれの取組にも共通する要点は、さまざまな社会資源が連携した在宅や地域での生活の重視と、公助に加えて自助・互助・共助の適切な組合せにあります。このことは、まさに「誰もが住み慣れた家庭や地域で安心していきいきと暮らせる福祉のまちづくり」に取り組む群馬県社会福祉協議会の使命と重なるものではないかと考えています。

市町村社会福祉協議会、民生委員・児童委員、社会福祉事業施設・団体、ボランティア、行政機関をはじめ、広く県民の皆様や関係機関・団体のご参加をいただきながら、これまでの諸先輩の取組をしつかりと受けとめ、新たな時代の要請にも積極的に応えて、群馬県の地域福祉をさらに推進すべく、誠心誠意努めてまいりますので、どうかご支援、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

◎新任のごあいさつ

常務理事 山後 秀明



このたび、7月1日の理事会の場において、群馬県社会福祉協議会の常務理事に指名され、事務局長と兼任することとなりました山後秀明でございます。

この3月まで、県職員として、福祉分野では、障害児者福祉、児童養護、生活保護、社会福祉法人・施設指導等の業務に携わってまいりました。

立場は大きく変わりましたが、社会福祉の目指す方向は、全く同じであると確信しております。

さて、平成27年は、後年振り返ってみたいとき、社会福祉の大きな転換点であったと認識されることとなると思います。子ども・子育て支援法や生活困窮者自立支援法の施行、介護予防・日常生活支援総合事業の実施など各福祉分野で、地域力のアップによる対応が期待され、そのための様々な施策・事業が示されるなど、制度面において、大きくその方向に舵が切られた感があります。

そして、地域の福祉力を高める地域福祉の推進が重要視される正にこの時期に、その役割を中核的に担う県社協において、その運営に携われることは、誠に光栄であり、と同時に、その職責の重さをひしひしと感じ、改めて身の引き締まる思いでございます。

微力ではありますが、群馬県社会福祉協議会の向上に邁進してまいりますので、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願ひ申し上げます。

夏号表紙

素敵な笑顔

三郷保育園 新井麻里絵さん

伊勢崎市にある三郷保育園に勤めて15年目になる新井さん。職員同士が明るく仲の良い雰囲気の中で、とても楽しそうな姿が印象的でした。



＊保育士を目指したきっかけは？
もともと母親が小学校の教員で、子どもたちと触れ合う楽しそうな姿を見てきました。それがきっかけで、私も子どもと関わる仕事に就きたいと、自然と思うようになっていきましたね。

＊現在の担当は？
昨年末には3〜5歳の子どもを、今年からは3歳未満を担当しています。学年によって取り組む内容は様々ですが、うちの園では子どもたちに多くの経験をさせることに特に力を入れているので、和太鼓や笛、器楽など、専門性を高める指導が多いです。子どもたちに教えるために、まずは私たちができるようにならないといけないので、事前に研修を受けたりもします。私たち職員も様々な経験ができるので、楽しいですね。

＊仕事でのやりがい？
和太鼓、笛、器楽など、子どもたちにはちょっと難しいかなと思うことにもいろいろチャレンジをしてみました。初めはあまり興味がなかった子どもたちも、少しずつ練習を重ねることでだんだんと顔色が変わってきてくるんですよ。できるようになって、楽しさがわかって嬉しいうちの顔を見ているのは嬉しいですね。2月の発表会で立派に披露している姿をみたときは、いつも職員全員で号泣しています。

＊最後に保育士を目指す方へメッセージを。
保育士は、子どもだけでなく、ご両親などみんなのことを考えながら接していかなければならない仕事です。その責任は大きく、大変さを感じることもあると思いますが、ですが、無事に成長していく彼らの笑顔を見られるだけで、こちらも元気をもらえますし、やりがいは大いだと思います。目指している方は、ぜひ頑張ってください！

＊休みの日は何をしていますか？
家でDVDを見たりもしますが、夏季休暇や年末などは友達とよく旅行に行きますよ。国内外いろいろ行きみたい。新しい世界を見てみたいという気持ちと、日頃のリフレッシュをするために。気持ち切り替えて、また明日から頑張ろう、という励みになります。

幼い頃から習字を習ってきた新井さん。発表会のめくり台や卒業証書など、様々な場面で特技の習字を活かして活躍されているそうです。今回の表紙はその凛とした姿を撮らせていただきました。